

# いずも I Z U M O 市議会だより

2013.2.20

No.31

編集／広報委員会  
発行／出雲市議会



## 大社町の吉兆神事

1月3日に行われる正月神事で「吉兆さん」と呼ばれています。「吉兆」と呼ばれる幡を立て、神謡を謡いながら地域を練り歩き、新年の祈りを捧げるものです。

少なくとも200年の伝統があり、昭和56年に島根県指定無形民俗文化財に指定されています。



- 子ども議会…………… 2
- 議会の動き…………… 3
- 委員会報告…………… 4
- 請願・陳情…………… 6
- 一般質問…………… 8
- 行政視察報告…………… 19
- 採決の結果…………… 22
- 議会活動・編集後記…………… 24

# 中学生議員と 執行部が活発な議論

～出雲市子ども議会開催～

平成24年11月20日に、はじめて「出雲市子ども議会」を開催しました。

当日は、本会議と同じ議場で行いました。市内の中学校15校の代表2名ずつが議員となり、市長や執行部に対し、市政に関する質問をしました。

中学生議員からは、学校生活に関連する身近な問題から、出雲市の観光振興や地域の環境問題など、さまざまな質問がありました。

1校あたりの持ち時間が10分と限られた時間でしたが、具体的な写真を見せて質問するなど、各校工夫した質問を行いました。

また、中学生議員自ら、楽しく活気のある学校をつくることを目指して、「出雲市フレンドシップ宣言」『中学生メッセージ2012』を提案し、全員一致で可決しました。

学校で学習する議会の仕組みなどを実際に体験することで、市議会や行政、まちづくりなどへの関心を深める良い機会になったのではないのでしょうか。

中学校名	議員氏名	質問項目
第一	塚本 健太	出雲一中前の道路の拡幅について
	大国由依奈	道路の水がうまく排水されるように
第二	大倉 菜恵	弥生の森博物館の意義・運営について
	梶谷 穂	登下校路の安全対策について
第三	瀧 将之	学校の施設整備について
	高尾 麻甫	出雲市のビジョンについて
河南	柘植 美沙	今後の高速道路周辺の地域について
	宇原 祐翔	神西湖のごみ問題について
浜山	大國 眞輝	就職の支援について
	萬代 彩虹	出雲市の観光事業について
南	田部麻菜美	少子・高齢化社会への出雲市の対策について
	高橋 彩子	市町の合併による住民の生活の利点について
平田	西尾 大樹	出雲市周辺地域の発展について
	木佐 菜々	平田にある出雲の観光資源について
旭丘	堀田 寛弥	宍道湖の環境保全の取組みについて
	松本 善幸	北山の環境対策について
光	山根 大輝	出雲市学校再編計画について
	落合 茜	出雲市学校再編計画と地域の発展について
佐田	岩崎慶一郎	佐田町からの通学バスの整備について
	月守志緒利	新しく建設される佐田中学校の校舎について
多伎	柳楽 達也	登校に使用する道路の整備について
	石飛 萌恵	外国語や異文化に興味をもつための方策について
湖陵	大澤 克樹	駅周辺の再開発について
	三原あかり	自然エネルギーの創出と防災に対する取組について
大社	森山 尚章	大社の神門通りの開発について
	椿 可奈子	正遷宮以降のイベント開催と交通網の整備について
斐川東	錦織 柊二	出雲縁結び空港活性化について
	多々納 葉	斐川の公共交通機関について
斐川西	三島 大和	旧斐川西中学校と斐川第2体育館について
	野津 直子	斐川町への普通高校の設置のお願いについて



登下校路の安全対策について質問する梶谷穂議員（二中）



議場の様子

平成24年度

# 第4回出雲市議会（定例会）会期日程

開会

平成24年(2012)11月29日(木)

閉会

平成24年(2012)12月19日(水)

会期21日間

11月29日(木) 本会議（開会、議案上程・説明）  
12月3日(月) 本会議（一般質問・1日目）  
4日(火) 本会議（一般質問・2日目）  
5日(水) 本会議（一般質問・3日目）  
6日(木) 本会議（一般質問・4日目、議案  
質疑、委員会付託）、議会運営委員会

10日(月) 総務委員会  
11日(火) 文教厚生委員会  
12日(水) 環境経済委員会  
13日(木) 建設水道委員会  
14日(金) 予算特別委員会  
19日(水) 本会議（委員長報告、討論、採決、閉会）

## 12月定例市議会 報告

「新たな出雲の國づくり計画『出雲未来図』を定めることについて」を可決するなど、37議案を議決しました。

### 議会の動き

12月定例市議会では、執行部から34件の議案が、また議員から3件の議案が提案されました。執行部提出議案として、「平成24年度（2012）出雲市一般会計第5回補正予算」などの予算議案8件、「出雲市新築住宅に対する固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例」などの条例議案5件、「新たな出雲の國づくり計画『出雲未来図』を定めることについて」などの一般議案20件、「人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて」の人事議案1件が提案され、すべての議案を原案のとおり可決または同意しました。

議員提出議案としては、地方自治法の改正に伴う所要の改正をするため、「出雲市議会会議規則の一部を改正する規則」、「出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例」及び「出雲市議会議政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例」の議案3件を提案し、いずれも原案のとおり可決しました。

# 常任委員会報告

## 総務委員会

### 緊急情報伝達手段の全市的な整備を

議案6件、陳情4件について審査しました。

陳情第13号「出雲市中央部に緊急情報伝達の手段として早急に外部拡声器の設置を求める陳情」は、出雲市内で一番の人口密集地である今

市・大津・塩冶・高松の4地区の安心安全な環境づくりのため、災害などの緊急時の迅速な情報伝達手段として外部拡声器のシステムを早急に設置するよう求めるものです。審査の結果、趣旨採択しました。本整備は、安全の確保に関わるもの

であり、早急な整備を行うべきとの意見がある一方、願意は理解するが、地域を限定してではなく公平な視点で、全市的な整備計画を早期に立てて進める必要があるとの意見がありました。

また、財政状況は厳しくても、地域住民の安全や安心に関わることは優先されるべきとの意見がありました。

平成25年度以降、出雲平野部、平田、大社地域については、防災行政無線の整備が予定されており、今後具体的な整備計画が示されます。

## 文教厚生委員会

### 医療・介護の請願は現場や現実を見据えて審査

請願第9号「県に乳幼児等医療費助成制度拡大の意見書提出を求める請願」は、助成対象を中学卒業まで拡大することを求めるものです。

仮に本市単独で無料化に取り組んだ場合では、新たに5億6000万円が必要で、県が取り組んだ場合でも、その2分の1の2億8000万

円が必要となり、財政的に困難な状況です。

また、市としては、県に、国に対して医療保険制度の見直しを働きかける要望を行っており、これらのことから不採択と決定しました。

次は、請願第10号「安全・安心の医療・介護実現のための看護師等の夜勤改善・大幅増員を求める請願」です。大筋の趣旨は理解できるもの

の、請願項目にある週32時間以内（労働基準法では週40時間以内）の労働時間、勤務間隔12時間以上とする労働条件が、現状と大きく異なるものです。実現されることにより現在の病院、介護施設などの現場で混乱が生じ、運営ができなくなるとの懸念が払しょくできず、不採択と決定しました。

## 環境経済委員会

### 神戸川再生の陳情を継続審査に

陳情第14号「神戸川再生についての陳情」は、現在、発電用水として来島ダムから美郷町の潮発電所に送水されている神戸川上流の水について、中国電力株式会社に認められている水利権の許可期限は、平成25年3月31日です。それ以降の使用許可について国に対し、更新申請がされたとしても、水量や水質などの環境面での心配がされる中、市として同意しないことを求めるものです。

現地視察を行い、佐田支所で陳情者から説明を受け、執行部からは「神戸川の河川環境に関する専門委員会」の検討状況について報告を受けました。



佐田町上橋波で陳情者から説明を受ける

審査の結果、大変重要な問題であり期限が目前に迫っているものの、市長の判断や議会の方向性が統一されていない状況において、まだ審議すべき点が多く、様々な視点からの

判断をするためには、引き続き調査・検討を行う必要があるとの意見で委員全員が一致し、継続審査とすべきものと決定しました。

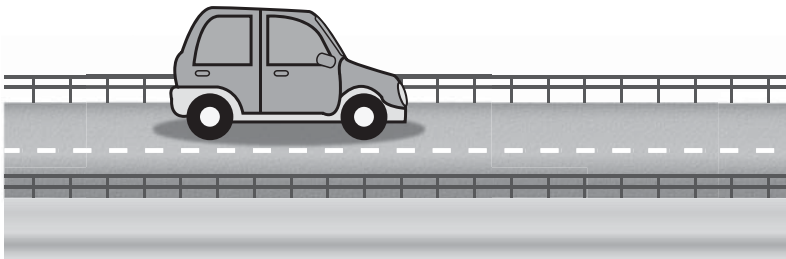
### 建設水道委員会

### 市道6路線を認定

議第64号「市道路線の廃止」  
議第65号「市道路線の認定」

都市計画道路路元町中の島線の建設に伴い、起点を変更して「御茶屋町北脇線」を、また特別養護老人ホームの増床により付け替えられることに伴い、終点を変更して「斐川2239号線」をそれぞれ一旦廃止して、再認定するとともに、斐伊川放水路事業や、一般国道431号のルート変更に伴う不用となる国道区間の移管などの理由により、市道6路線を認定するもので、それぞれ議会の議決を求めます。

審査の結果、両議案とも、それぞれ原案のとおり可決しました。



### 議会運営委員会

### 反問権の導入に関する 陳情を継続審査に

審査の付託を受けた案件は、陳情第10号「反問権の導入に関する陳情」の1件です。

本陳情は、市長をはじめとする執行部に「反問権」を付与することにより、議会と執行機関に良い意味での緊張関係が生まれ、議会の活性化につながると思われることから、本市議会に早急に反問権の導入を求めるものです。

委員会審査の過程では、反問権を導入する場合、反問にかかる時間を、質問・答弁の制限時間に含めるのか否かという点、また反問権には、議員の質問趣旨確認に限定する

ものと、質問の根拠や政策的代案を問いただすものとの2つがあり、その範囲や質問回数などについて、全国の事例も参考にしながら、さらに調査を行ったうえで判断すべきとの結論となりました。

採決の結果、全会一致で継続審査としました。

#### 反問権とは

議会審議の場で、市長をはじめとする市職員が、議員の質問に対し逆に問い返すことができる権利。

既に導入している議会では、議員の質問の趣旨を確認するものや、質問の根拠や政策的代案まで問いただすものなどがある。

## 特別委員会報告

### 予算特別委員会

### 一般会計予算808億円に

12月定例会では、別表議案一覧表の補正予算8件について、12月14日に委

員会を開催し、審査を行いました。議第33号の一般会計補正予算の主

なもの、民生費では、障がい者自立支援サービス給付事業など障がい者福祉費として6億5463万円、認可保育所施設整備費補助として1億3584万6千円、生活保護費として1億2千万円、商工費では、長浜中核工業団地への新規立地に伴う企業立地助成金8925万円、農林水産業費では、戸別所得補償経営安定推進事業として、協力農家への補助金4210万円、有害鳥獣被害対策として、シカ、イノシシ捕獲奨励金1155万円などです。

審査の結果、いずれも原案のとおり可決しました。なお、企業誘致の制度に反対であることから、一部の委員から否決との意見がありました。議第34号から議第40号の特別会計及び企業会計補正予算については、審査の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

この結果、一般会計は、12億3700万円増の807億9290万円に、特別会計の合計では、4億120万円増の482億3442万5千円に、病院事業会計は、3500万円増の36億1875万円となります。

執行部に対しては、委員会での指摘・意見を十分に踏まえ、適切な予算執行にあたるよう要望しました。

予算特別委員会付託議案一覧表

議案名		補正予算額	議案名		補正予算額
議第33号	平成24年度出雲市一般会計第5回補正予算	12億3,700万円	議第37号	平成24年度出雲市下水道事業特別会計第3回補正予算	3,100万円
議第34号	平成24年度出雲市後期高齢者医療事業特別会計第1回補正予算	6,230万円	議第38号	平成24年度出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計第1回補正予算	150万円
議第35号	平成24年度出雲市介護保険事業特別会計第3回補正予算	2億9,700万円	議第39号	平成24年度出雲市ご縁ネット事業特別会計第1回補正予算	補正額なし
議第36号	平成24年度出雲市簡易水道事業特別会計第1回補正予算	940万円	議第40号	平成24年度出雲市病院事業会計第1回補正予算	3,500万円

## 請願・陳情の審議結果

【請願】(今回提出された請願)

番号	件名	提出者	審議結果
9	県に乳幼児等医療費助成制度拡大の意見書提出を求める請願	松江市浜乃木 島根県保険医協会 会長 吉岡 繁治	<b>不採択</b> に 賛成多数
	<b>なぜ不採択</b>	市としては、既に県に対して国に医療保険制度の見直しを働きかけるよう要望を行っていることや、財源確保が困難な状況にあるため。	
10	安全・安心の医療・介護実現のための看護師等の夜勤改善・大幅増員を求める請願(意見書提出)	松江市大正町 島根県医療労働組合連合会 執行委員長 佐野 みどり	<b>不採択</b> に 賛成多数
	<b>なぜ不採択</b>	趣旨は理解できるが、請願項目にある労働条件と現状(労働基準法に定められている労働条件)とが大きく異なり、現場で混乱が生じる懸念があるため。	
11	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める請願(意見書提出)	松江市大正町 島根県医療労働組合連合会 執行委員長 佐野 みどり	<b>不採択</b> に 賛成多数
	<b>なぜ不採択</b>	大筋の趣旨は理解できるが、加算の対象職員をどの職種まで広げるかなどを慎重に検討する必要があるため。	

【陳情】（継続審査中の陳情）

番号	件名	提出者	審議結果
平成 23年度 16	島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求める陳情	松江市母衣町 原発ゼロをめざす島根の会 共同代表 責任者 舟木 健治 他5名	<b>継続審査</b> に 賛成多数
	<b>なぜ継続審査</b>	さらに慎重な審査を必要とするため。	
平成 24年度 1	成立を目指している出雲市自治基本条例に関し、白紙撤回を求める陳情	出雲市塩冶町 出雲市自治基本条例を考える市民の会 松谷 仁造	<b>継続審査</b> に 賛成多数
	<b>なぜ継続審査</b>	条例が提案された時点で、本陳情についても審議すべきであるため。	

（今回提出された陳情）

番号	件名	提出者	審議結果
10	反問権の導入に関する陳情	出雲市大津新崎町 森山 哲郎	<b>継続審査</b> に 賛成多数
	<b>なぜ継続審査</b>	執行部が反問できる範囲や回数などについて、さらに調査・検討を必要とするため。	
11	県営大社漁港海岸（きづき海浜公園）環境整備事業の早期完成を求める陳情	出雲市大社町杵築北 杵築地区海岸線環境整備促進期成同盟会 会長 入江 紀久男	<b>採 択</b> に 全員賛成
12	出雲市誘致の専門学校の定員削減に関する陳情	松江市大輪町 一般社団法人島根県専修・各種学校連盟 会長 坪内 孝満	<b>不採 択</b> に 賛成多数
	<b>なぜ不採択</b>	出雲市が誘致した経過もあり、また定員削減を求めることにより経営を圧迫する可能性が生じるため。	
13	出雲市中央部に緊急情報伝達の手段として早急に外部拡声器の設置を求める陳情	出雲市今市町 今市自治協会会長 今市地区災害対策委員長 武田 睦弘 他3名	<b>趣旨採択</b> に 賛成多数
14	神戸川再生についての陳情	出雲市古志町 神戸川再生推進会議 会長 林 要一	<b>継続審査</b> に 賛成多数
	<b>なぜ継続審査</b>	水利権更新期限が目前に迫っているが、大変重要な問題で、審議すべき点が多くあり、引き続き調査・検討をすることが必要であるため。	

## 議会傍聴にいらっしゃいませんか

◆本会議の傍聴

本会議には、年4回（3月、6月、9月、12月）開かれる定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があります。

本会議は、原則公開で行われます。

住所、氏名を書いていただくだけで傍聴できますので、お気軽にお出かけください。

◆委員会の傍聴

委員会は、原則公開しています。（ただし、委員長の判断により非公開とする場合があります。）

# 市政のここが聞きたい 一般質問

12月定例会市議会では24人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで（◎印のもの）掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

<b>遠藤力一 議員</b> (9ページ)	<b>原 隆利 議員</b> (14ページ)
◎リース方式による公共施設へのLED照明の導入について ・レアメタル等の回収・リサイクルの取り組みについて「小型家電リサイクル法」の成立を受けて	◎9月3日に提出された神門地区からの要望書について ・出雲市職員としての質の確保と労働意欲について
<b>勝部順子 議員</b> (9ページ)	<b>小村吉一 議員</b> (14ページ)
・向陽中学校建設 ◎平成23年度決算から ・市営住宅入居基準の連帯保証人制度の廃止	◎小中学校再編方針を問う
<b>川上幸博 議員</b> (10ページ)	<b>曾田盛雄 議員</b> (14ページ)
・出雲市の松くい虫対策の現状について伺う。 ◎多伎から大社までの砂丘海岸の現状と砂丘復元に向けた市の方針を伺う。	◎農業、農村整備事業について
<b>飯塚俊之 議員</b> (10ページ)	<b>木佐 宏 議員</b> (15ページ)
◎森林バイオマス活用について	◎長岡市政の実像を暴き・全主権者へ警鐘す、これで良いのか憂愁出雲市。
<b>米山広志 議員</b> (11ページ)	<b>大国陽介 議員</b> (15ページ)
◎広報いずもの誤掲載 ・出雲エネルギーセンターに関する問題 ・都市計画税見直し	・市長の政治姿勢について（消費税、原発ゼロ、TPP、オスプレイ） ◎斐川中央工業団地の新規造成は中止し、市民のくらしと福祉の充実を ・国民健康保険の改善を求める（保険料引き下げ、資格証・短期証の発行中止、減免制度の改善）
<b>坂根 守 議員</b> (11ページ)	<b>板垣成二 議員</b> (16ページ)
◎観光振興の対策は	・出雲市の健康福祉政策について ◎神戸川の河川環境再生について
<b>西村 亮 議員</b> (11ページ)	<b>松村豪人 議員</b> (16ページ)
◎地籍調査に関する現状と課題	◎市税などの未収金を速やかに回収し、貴重な財源確保を
<b>多々納弘 議員</b>	<b>伊藤繁満 議員</b> (17ページ)
・男女共同参画社会の実現について ・農地の耕作放棄地対策について	◎出雲未来図（基本構想）と財政計画（見通し）について
<b>萬代輝正 議員</b> (12ページ)	<b>福代秀洋 議員</b> (17ページ)
・長岡新市政での行財政改革の進展と今後の政策は如何に ◎大切な財源「都市計画税」今後の検討スケジュールを示されたい	◎出雲市の財政状況と計画
<b>大場利信 議員</b> (12ページ)	<b>板倉一郎 議員</b> (18ページ)
◎新しい出雲市総合振興計画について ・再び出雲市立総合医療センターについて伺う。	◎出雲市自治基本条例について ・市政に関する苦情を処理する制度の創設について ・肺炎球菌ワクチンほか予防接種の状況について
<b>井上恵夫 議員</b> (13ページ)	<b>井原 優 議員</b> (18ページ)
◎農業就労者の高齢化に伴う離農者対策として農業サポート事業の重要性	◎支所機能の充実について ・福祉医療費助成制度について ・中学校卒業までの医療費無料化を
<b>保科孝充 議員</b> (13ページ)	<b>珍部全吾 議員</b>
・旧斐川町と合併して1年が経過した。市長としての感想を伺う ・健康・医療・福祉政策を進める拠点施設の早期整備を求める ◎出雲市非正規職員と正規職員の給与等について伺う ・まめながタクシーと生活バスについて	・グリーンステップ用地でのメガソーラー計画について ・宍道邸についての今後の方針 ・自治基本条例について





リース方式による防犯灯・公共施設へのLED照明導入を図れ

遠藤 力一

問

福島第一原発の事故を受け、電力に対する考え方が全国的に大きく転換をした。悪化する電力事情を少しでも緩和するため、公共も努力をすべきだ。

比較的簡単な取り組みとして、公共施設や防犯灯へのLED照明の導入ができる。しかし、照明器具が高価で、予算確保に時間がかかり、初期費用も高いというネックがある。

そこで、民間資金を活用したリース方式によって公共施設・防犯灯へのLED照明導入が、全国で進んでいる。検討してはどうか。

環境政策調整監

公共施設へのLED照明の導入状況は、長浜コミュニティセンターの事務室・研修室、向陽中学の校舎、屋体の廊下に採用しました。

市が設置管理する防犯灯は、約1900灯で、そのうち14%にあたる275灯がLED照明です。

LED照明の導入は、省エネルギー対策と本市の電気料金負担の軽減につながることから、平成22年度(2010)から順次移行を図ってきました。



出雲市で開発製造されるLED防犯灯

ました。

最近では、リース方式により初期投資を抑え、公共施設や防犯灯にLED照明を導入する自治体があり、今後は、そうした事例を参考とし、リース方式によるLED照明の導入について検討していきます。

問

①木綿街道にある旧石橋酒造取得費として、総額約3015万円が決算額で示された。旧石橋酒造の土地・建物取得をされた目的について伺う。

②地域イベント支援交付金事業は、平成23年度の対象事業が19事業で、そのうち13事業が平田地域で918万円である。あまりにも平田地域に偏っているのではないか。この事業に対する市長の考えを伺う。

産業観光部長

①木綿街道の中心に位置する旧石橋酒造の取得は、東部都市拠点地区の中心市街地の商業及び観光の拠点として活用を図ること、木綿街道の街並み景観の保全を目的としたものです。  
②13事業は平田地域のイベントですが、文化スポーツイベントや産業活性化のためのイベントに分類すべきものも多くあります。突出している理由としては、合併時に引き継いだイベントが多かったということもありますが、それだけではなく、整理が遅れたということも挙げられます。



23年度決算から問う

勝部 順子

市長

行政が声がけし、下準備をするのが本来の姿なのかなど、地域住民の皆さんに対する行政としてのかかわりの部分を今後考えていく必要があると感じています。



木綿街道にある旧石橋酒造



## 国引きの浜の復元を望む

川上 幸博

### 問

多伎から大社にかけての砂丘海岸は、「国引き神話」に登場する新羅の岬を引いた綱と言われている。この砂丘海岸の浸食が進み、後背地の家屋や道路に被害が及ぶ恐れがあるが、①現状の把握と対策は行われているのか。②サンドリサイクルを行う考えはあるのか。また、漂砂の動きをつかみ的確にサンドリサイクルを行うために、海底調査を行う考えがあるのか伺う。

### 都市建設部長

①砂丘海岸において、浸食により陸地の境界線が後退し、後背地に影響が起きていることは、十分に認識しています。市では、管理者の県に対し重点要望として「海岸保全施設の整備」や、たまりすぎた砂を浸食を受けた海岸に戻す「サンドリサイクルの推進」を図るよう要望しています。

②大社漁港では、漁港内及び稲佐の浜周辺に砂がたまり飛砂被害が発生しています。県において、漁港事業で大社漁港の沖側から砂の侵入を防ぐため、防砂堤の建設と併せ、た



浸食が進む砂丘海岸（大社町杵築西湊原）

まった砂を撤去するためにしゅんせつを予定しています。この砂を、今年度と来年度、外圍海岸の浸食箇所サンドリサイクルを行う予定です。また、海底状況調査とサンドリサイクルの引き続きの実施を県に要望していきます。

### 問

森林は、国土保全・水源涵養・地球温暖化・木材の供給など多面的な機能を有しており、今も昔も貴重な地球の財産である。しかし、近年全国的に、長引く木材価格の低迷や担い手不足により、森林の荒廃が進んでいる。出雲市では、国や県の補助金などを活用し、森林再生に取り組んでいるが、近年、林地残材を木質バイオマスとしてエネルギー利用する動きが広がっている。そこで次の点を伺う。①出雲市の木質バイオマス利用の現状②木の駅プロジェクトの評価③出雲市への木の駅プロジェクトの導入

### 市長

①平成21年度に「出雲市バイオマスタウン構想」を策定し、間伐などの林地残材の利用拡大を重点事項に位置付けています。

②比較的新しい取り組みであるため、現時点での評価は困難ですが、着実に効果が表れていると思います。

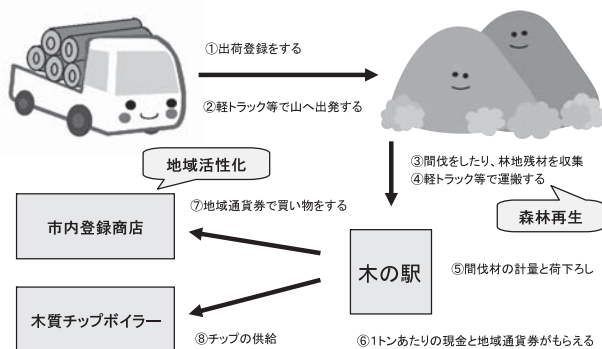
③出雲市バイオマス活用推進協議会を開催し、本市に豊富に存在する森



## 積極的な森林バイオマスの活用を

飯塚 俊之

林や、枯枯れなどによる枯損木などの木質バイオマスの有効活用を図る観点から、住民参加型のプロジェクトについて検討を始めました。関係者の意見を聴いて、実現の可能性、効果的な実施方法など制度設計に向けた検討を進めていきます。



「木の駅プロジェクト」イメージ図



## 広報いずも 資産税課が誤掲載

米山 広志

### 問

広報いずもの第164号のお知らせコーナーに「新築住宅課税免除制度の適用期限を3年間延長」の条例改正案が、上程されていないにもかかわらず掲載された。

- ① 資産税課が誤掲載するまでの経過
- ② 今後のチェック体制の強化
- ③ 市民の皆さんに対しての信頼回復

### 財政部長

① 議会の議決前にもかかわらず、10月19日発行の広報いずもに掲載しましたことは、極めて不見識かつ非常識なことであり、全く弁解の余地はなく、議会の皆さまはじめ、市民の

皆さまにご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申しあげます。

制度延長を、急いで市民の皆さまにお知らせをしないといけないという思い込みから、最も基本的な広報する時期についてのチェックがされていませんでした。

- ② 日ごろから課内の意思疎通を図っています。
- ③ 日々の業務の中で、何事も丁寧に分かりやすく説明し、ご理解をいただくという行為の積み重ねの中で図っていきます。



## 観光振興の現状と対策は

坂根 守

### 問

「神話博しまね」のイベントは多くの人出でにぎわった。大社神門通りも石畳になり門前町にふさわしい風情になった。また、多くの新しい店がオープンして活気が出た。そ

こで観光振興の現状と対策を伺う。

- ① 「神話博しまね」の経済効果は。
- ② 「神話博しまね」は県の事業、地元出雲市との連携はうまくいったのか。
- ③ 5つ星を目指す出雲市、おもてな

しの心も5つ星でなくてはならない。市民におもてなしの心が広がっているのか。

### 市長

① 「神話博しまね」は、目標を大きく上回る73万人の来場者でにぎわいました。まち歩きの見光客の増加があり、結果として観光客の滞在時間を長くして観光消費額の向上につながりました。

- ② 県とは観光戦略全体について常に連携を保ってやっています。また職員交流もしています。県や観光団体の皆さんとともに他県からの誘客活動を続けていきます。
- ③ 大社地域において「おもてなし活



## 地籍調査に関する現状と課題

西村 亮

### 問

出雲市における地籍調査の実施状況は、側面したところによると調査が進んでいないようだが、現状を伺う。

松江市・雲南市・飯南町・大田市と境界を接しており、地籍調査の実施が特に大切であり、境界を確認することが大切である。

地域住民の皆さまは、高齢化が進

動総決起集会」をされ、具体的な活動を展開されています。また定時観光ガイドの設立など、さまざまな取り組みが広がっています。



元日ににぎわう神門通り

行し、境界が分かる人が年々減少、最終的に境界がはっきりしないことが懸念されるため、地籍調査の実施を強く希望されている。故に出雲市としても積極的な取り組みがなされ、地域住民の要望に応えるためにも、今後の中、長期的な実施計画の具体策を伺う。

### 都市建設部長

地籍調査の実施には、多大な労力

と費用や地元の協力体制が必要不可欠であり、本市や松江市を始め、県内の地籍調査の進捗状況は総じて進んでいません。本市は、松江市・雲南市・飯南町・大田市と境界が隣接しており、多くの地域・地区で調査が実施されておらず、市町の境界を

大切にすべきと考えており、地区ごとに計画を立て進めていきます。今後、全市的に地籍調査が必要と考え、厳しい財政状況ですが、公共事業に関連し急がれる地区や地元要望・調査の協力体制などを勘案し、計画的に実施します。



## 大切な財源「都市計画税」の今後

萬代 輝正

### 問

年間2億円の財源となる都市計画税を、今後の財政見通しの中で安易に廃止との結論に至ったのは軽率であったと考えざるを得ない。新聞記事掲載後、明確な対応がなされていない中、今後はどのようにしようとしているのか、政策的判断を示していただきたい。

### 財政部長

新聞報道については、市側からの情報提供ではございませんが、ご迷惑、ご心配をおかけすることとなり誠に申し訳なく思っています。

今後の検討のスケジュールに関しては、議会の意見もお聞きしながら、課税の在り方について慎重に検討・判断していきたいと考えています。

### 市長

先般の9月議会で、執行部の思い、私の思いでもありますが、いろいろご指摘をいただいているように、事前に中間的な報告などもししていない中での方向をお示しました。今後、さらに議会の皆さんとの協議を詰めたいと考えています。皆さまのいろいろな意見を伺った中で決めていきたいと思っています。

### 都市計画税

都市計画法に基づいて行う街路事業などに要する経費にあてるための目的税。  
出雲市では、鉄道高架事業、国道9号バイパス整備、街路事業や土地区画整理事業、下水道整備事業などへの積極的な取り組みを行うために、旧出雲市内の用途地域1388ヘクタールにある固定資産を対象に、平成8年度から課税されている。税率は0.1%。



## 新たな出雲の國づくり計画「出雲未来図」について伺う

大場 利信

### 問

計画に定める34の戦略プロジェクトは出雲市の発展のために不可欠なものであり、スピード感を持って達成されるべきである。予算の重点配分や専属スタッフの配置が不可欠であると考えるが所見を伺う。

### 総合政策部長

達成に向けて、組織横断的、かつ、総合的に推進していく必要がある、財政改革との整合を図りながら着実に取り組んでいく考えです。

### 問

計画でうたう「新市の一体感の醸成」に関し、斐川地域は合併して時浅く、引き継がれた事業もまだ途上にあるもの、これから計画を立てるものなど、さまざまである。また計画では斐川地域は「産業都市拠点ゾーン」に位置付けられているが、今後の斐川地域への投資について伺う。

### 総合政策部長

合併協議で決定された「新市基本計画」に沿って策定する基本計画、財政計画の中で具体化していくこと

としています。

### 問

「出雲未来図」は、統計数値や身近な写真が用いられ色彩もカラフルで楽しい読み物でもある。市民に浸透させる点からそのままの形で配布すべきと考えるが見解を伺う。

### 総合政策部長

そのままでは、ボリュームがありすぎますので少しコンパクトにした概要版を全世界帯に配布する予定です。



「出雲未来図」と地域別まちづくり像



### 高齢化した農業振興対策

井上 恵夫

#### 問

農業所得半減、高齢化により地域農業は農家存亡の危機である。20〜30年先の展望は国防と同様に国家戦略の必要がある。食料自給率40%の達成、農業就労者の高齢化など喫緊の対策が必要である。ついで以下への回答を求めます。

- ① 農業高齢化対策の取り組みと実情。
- ② 高齢就農者への農家支援ヘルパー養成事業の推進。
- ③ 担い手不足支援サポート・I・Uターンの取り組み状況。
- ④ 農林漁業の雇用事業の振興策。

#### 農林水産調整監

- ① 農業者の高齢化は全国的に深刻で、本市も73%が65歳以上であり、新規就農者倍増を目標に就農給付金制度を創設しアグリビジネススクールを開設しました。また、ひかわ産地拡大事業の規模拡大や経営の多角化に支援しています。
- ② 農業支援のヘルパー制度は産地維持対策事業として県、JAと連携して、事業を検討します。
- ③ I・Uターンの取り組みは5年間で4人の就農がありました。



④ 営農の組織化法人化の推進を図り6次産業化によるブランド化を農工商が連携した経営基盤の強化、農林漁業の雇用の創出につなげます。

#### 堺田副市長

高齢化は国家的問題です。10年20年先どうなるかに思いをはせ、行政と地域の皆さんが危機感を共通認識し、地域の方針を支援する振興策をスタートさせたいと考えます。



### 出雲市非正規職員の待遇改善を

保科 孝充

#### 問

最近の新聞の活字で公務員の非正規職員に関する見出しが多くなった。「福祉の現場、誇りが支え。一時金廃止追いうち」など。自治体の財政が厳しい中で非正規職員の割合が高まっている。難関を突破して正規職員になった経過から考えれば格差があつて当然とは思いますが、その格差は広がるばかりだ。職場によっては非正規職員が正規職員より仕事の内容を良く知っている場合もある。旧2市5町の中でも賞与を支給していた経過もある。年収の差は平均で3分の1前後である。不安定な立場で頑張っている姿を見れば待遇改善されていると思うが、いかがか伺う。

#### 総務部長

嘱託職員、臨時職員は専門的業務や臨時的業務を処理するために任用期間を定めて雇用するものですが、正規職員と同様に住民サービスの一翼を担い、誇りと責任を持って活躍していただいています。

嘱託職員は月額14万8千円、臨時職員は月額6300円です。一般行政職平均給与月額を含まず39万



市民が一体となって元気な出雲市にしたいものです

8174円、このほかに年間平均144万9千円の期末勤勉手当があります。非正規職員の賃金を含めた待遇は他の自治体に比べ見劣りするものではないと認識しています。忌引休暇、看護休暇などの改善を図り、働きやすい職場環境づくりに努めます。



### エネルギーセンターに対する 地元要望は無謀

原 隆利

**問** 「稼働年数を20年と約束した。その後の延長は認めない。他所へ移設すべし」との地元要望は過去の建設の経過からして無謀な要求だ。本当にそのような約束があったのか。

### 環境政策調整監

そのような約束はしていません。

**問** 「フローラ出雲（現・朱鷺会館）の管理・運営は厳しい。支援を願いたい」この施設の建設費5億円を地元要望として出したが、具体的な建設に市は全く関与していない民設の施設だ。当初文書で約束した通り、管理費を市が補助する必要はない。



民間施設・フローラ出雲 現朱鷺会館

**市長** 公共の福祉を目的に、市が建設費を補助して建設された経緯もあり、現在の経営状況などを総合的に判断して、議員の意見も踏まえながら最終的に判断をします。



### 「出雲市立小中学校再編方針」を問う

小村 吉一

**問** 「小中学校再編計画（素案）」では、クラス替えができる学校

を「適正規模校」として再編の必要性が強調されていたが、実際に再編

を行っても該当する学校はほとんどない。

そこで、「一学級20人程度以上の学級」を「適正規模校に近づく」として学校再編の新たな理由付けとした。その教育的意味を問う。特に「20人」とした理由は何か。

### 教育長

望ましいのは、一つの学年で複数のクラスがあることだと思っていますが、それが困難な中で一クラス20人以上が確保できるような再編も一つの物差しではないかと考えています。

### 教育部長

「一学年20人程度以上」とする理由は、現在の学級定数が40人で、その半数程度以上ならば活力ある学習活動が展開できると考えたからです。

**問** 複式学級は、クラス替えが自動的に行われる。そういう点

では「適正規模」なのに、再編により期待される効果としてなぜ複式学級の解消を上げたのか。削除すべきと思うが。

### 教育長

複式学級はやむを得ず取られた形態で、子ども達に負担になっていると認識しています。だから可能な限り解消へと取り組むべきだと思います。



谷川にカジカを追う（鰯淵小）

### 農業、農村整備事業を問う

曾田 盛雄



**問** ①国の農業関係に対する予算の推移状況。②島根県、出雲

市の予算措置と将来的な考え方。

③用排水路・排水ポンプ、ため池など、いずれも老朽化が進んでいる。農業用施設の整備改修と、受益者負

担の割合、低減策。④農地・水保全管理支払交付金による共同活動と、土地改良区の事務のあり方。⑤戸別所得補償制度は今後も続くのか。過去のネコの目行政の問題点と、今問題になっているPPP他、自由貿易協定に対する本市の考え方、所見など5点について伺う。

**市長**

- ①国の農林水産関係の予算については、政権交代があった平成21年度と比較して、本年度は15%減の2兆1727億円で、4000億円減少しています。
- ②県、市においても、7.4%、11%の減で、出雲市は5億2000万円減の40億円です。
- ③農業用施設維持補修のための予算は、緊急性、費用対効果などを配慮しながら、優先順位をつけて対応します。「県営の危険ため池緊急整備事業」は、地元負担率1%で前向きに検討します。



**長岡市政の実像を暴き、全主権者へ警鐘す。これで良いのか憂愁出雲市**

木佐 宏

**問**  
私は、虚像長岡市政を斬るのタイトルで第5弾、第6弾と糾弾しつつ一日も早く市長を辞していただきたいと直言。今回は、首長



貯水能力を大幅に失った溜池

業」は、地元負担率1%で前向きに検討します。④それぞれの組織の中で、検討されるべき課題と考えています。⑤農業者戸別所得補償制度は、ばらまきとの批判もありますが、出雲市全体で、平成22年度が17億円、平成23年度が約14億円支払われています。

としての資質に欠ける本質を内部告発する。自らが何も決断できない、据え膳の食い逃げで世間を欺き、イベントには精力的に顔を出し、存在

感をアピール、報道姿勢にも問題と。偽善者の偽善行為を容認看過しない、平成の世直し人の言動を主権者の皆さまも注視、義務を切望、本題に入る。これが開かれた市政、市民本意の施策と言えるのか。道路改良事業への立ち位置は、自らの選挙集票マシーン目線を最優先し、主権者たる住民の最大公約数民意を土足で踏みにじり、トップダウンで強硬。手段を選ばず奔走。

**都市建設部長**

まず、長岡市長就任以来、「市政の基本は、市民に信頼される透明で公平・公正な市政運営」と位置付け、住民に信頼される市政を推進しています。なお、市道国富大津線の歩道整備は、平成20年度から29年度までの「幹線市道整備計画」に現在計上されておりませんので、次期計画策定の中で検討すべきものと考えてい



**工業団地の造成は中止し市民のくらしと福祉を守る市政へ転換を**

大國 陽介

**問**  
工業団地の造成に疑問を感じる。この数十年、全国の自治体が破格の優遇措置を用意して大企業を呼び



突如4,500万円投じ市道工事・長岡市政公金不適切支出・情報公開で確信犯の行為露呈

ます。湯谷川・南橋存続要望については、署名を添えて提出されており、今しばらく慎重に検討して、お答えさせていただきます。

込もうとした。結果、売れ残る工業団地が各地にでき、自治体は多額の借金を抱え、企業誘致に成功したかに見えるところでも、非正規雇用の

増加による雇用の不安定化、工場の閉鎖などによるリストラが、今なお問題となっており、この産業振興策は明らかに破綻済みだ。

財政難を口実に、障がい者福祉タクシーの対象切り捨て、介護保険料や水道料金の引き上げなど、福祉切り捨てと負担増が行われてきた。このような中で、32億円を投入する工業団地の造成に市民の理解は得られない。ただちに中止し、市民のくらしと福祉を守る市政へと転換すべきだ。

### 産業観光部長

市内の工業団地の内、未利用地は9・5ヘクタールありますが、旧斐川町で用地を確保されていたことも踏まえ、雇用確保を図る観点から開発に着手しました。

### 市長

「福祉切り捨て」とのことですが、対象の皆さまを思うと心の痛みを禁

じ得ないというのが私の率直な感想です。32億円の多くの部分は回収可能と考えており、そのことが将来にわたって安定的な行政サービスの提供につながると思っております。ご理解をいただけたらと思います。



斐川中央工業団地



## 神戸川の河川環境再生の第一歩を

板垣 成一

### 問

中国電力の神戸川水利使用の期限が平成25年3月31日だ。神戸川の水量は減少し、水質も悪化した。来島ダム、志津見ダムではア

オコが発生し、志津見ダム直下の川底の石は黒く変色した。窪田発電所、乙立発電所に水を取られる分、さらに水量が少なくなり、場所に

よっては全く水が流れないことがある。①現状認識は②中国電力の水利使用への対応、ならびに神戸川の河川環境再生のための対応は。

### 農林水産調整監

①水量不足、水の汚れ、漁獲量の減少など、多方面で様々な課題があると認識しています。

②平成24年8月、県において「神戸川の河川環境に関する専門委員会」が立ち上げられ、出雲市も事務局として参画しています。この専門委員会の検討結果を参考にして、市議会をはじめ流域住民や、「神戸川再生推進会議」を構成される各種団体などの方にも意見を伺い、市として最終判断します。

### 問

科学的な原因究明という観点から、専門委員会の検討結果を参考にするのは理解できるが、国、県、中国電力と市が一緒に神戸川の再生に一步踏み出す必要がある

る。その方向が明確にならない限り、中国電力の水利使用に「ノー」というべきでは。

### 市長

専門委員会の結論を待ったうえで、議会、流域の多くの皆さま、そして関係機関の皆さまのご意見を十分に聴取したうえで、最終的な結論を出します。



来島ダムの現況



## 市税などの未収金を速やかに回収し、貴重な財源確保を

松村 豪人

### 問

厳しい財政状況のなか、市民には事業の保留や延期、廃止

という形で我慢をお願いしている。財政改革は、歳出削減、支出カット



といった側面に目が行くが、本市の自主財源の確保はしっかりと行われているのか。本市には多額の未収金があり、まずは、本来、市の歳入になるべきものをしっかりと収納確保して、市民サービスの原資とすべきだ。

未収金の状況はどのようなものか。未収金の縮減の見込み、未収金対策の今後の計画はどうか。

**財政部長**

平成23年度決算における未収金は、一般会計と特別会計で合わせて16億



**夢と希望の持てる出雲未来図を**

伊藤 繁満

**問** 出雲市の今後10年間における目指すべきまちづくりの将来像として、基本構想である「出雲未来図」が発表された。この構想、計画が広く市民のものとして生かされ発展するよう願っている。

少子高齢化の進展、市民ニーズの多様化など、行政が対応しなければならぬ課題、社会資本整備など防災、減災事業に対応した課題も山積している。中海・宍道湖・大山圏域での本市が果たす役割は大きいもの

890万円です。内訳は、市税が7億6114万円、国民健康保険料が5億2560万円です。特別債権回収室の新設など、収納体制の強化を図ることにより、本年度の決算見込みの推計では、市税未収金が5000万円程度、国民健康保険料の未収金が6000万円程度縮減できる見込みです。今後は、平成27年度を目標とする「市税等収納向上対策中期3か年戦略」により、未収金の縮減に全力を挙げていきます。

があり、財政計画ともリンクさせながら、市民に夢と希望の持てる実効ある計画となるようすべきである。

**市長**

斐川町との合併、震災、少子化・高齢化、悪化する財政状況に対する行政改革の推進など、課題は多くあります。中海・宍道湖・大山圏域との連携は一層進めていく考えで、環日本海交流の中心都市として役割を担っていきます。当面は、産業振興・観光振興・環境保全を重点的に取り組むことと

し、交流人口1000万人の実現に向けて、本市の豊富な観光資源、芸術文化など多様な形で取り組み、また、産業集積の進む地域の特性を生かし、企業誘致や産業交流を進め、将来に夢と希望の持てる持続可能なものとしていく考えです。



**投資的な経費を確保すべき**

福代 秀洋



**問**

出雲市は、公債費負担が他市に比べ大きく、財政を圧迫している。これは、過去の積極的な社会資本の整備など投資の結果である。一方で、この投資が、出雲市の活力につながってきている一面もある。

今後、扶助費のさらなる増大、普通交付税の一本算定への移行など、大きな財政的マイナス要素がある。このような中で、出雲市を寂れさせることなく、さらに発展させていくためには、投資的な経費を確保していかねばならないと考える。市の財政状況と今後の財政運営について伺う。

**市長**

実質公債費比率、将来負担比率が全国ワースト10に入っています。こうした危機的な状況からの脱却を図るため、徹底した事務事業の見直しに取り組んできました。

今後の財政運営は、公共事業費などについては財政力に見合った適正な規模にしていくことが必要だと考えます。不要不急な事業の休止・廃止、総人件費の抑制、受益者負担の適正化、収納率の向上、財産の売却・活用などを進めていかなければならないと考えています。



## 出雲市自治基本条例の よりよい制定を目指して

板倉 一郎

### 問

11月の定例記者会見で自治基本条例の今任期中の制定を断念する考えを表明された。そこで次の点について伺う。①今任期中での、制定を断念された理由。②今後、どのように進めていく考えか。③市民、議会、執行部が一体となつて議論を重ねるシステムを構築し、よりよい条例制定を目指してはと考えるが市長の考え。

### 市長

①各種団体への説明会など一定の手順を踏んできましたが、広く市民の皆さまにご理解を得られる段階に

至っていません。特に常設型住民投票制度について、議会にも慎重な意見があり、更に議論を進める必要があると考えています。残された任期の中では、時間をかけて制定することは難しいと判断し提案を見送りました。②この条例の必要性については、いささかも変わっていません。来春引き続き市政を担当させていただければ、今一度仕切り直しをして取り組んでいきます。

③本市にふさわしい方法を検討しながら、丁寧な議論を重ねて制定を目指していきたいと考えています。

### 一般質問の様子をインターネットで試験配信

平成24年度12月定例会一般質問の録画映像をインターネットで試験配信しています。(出雲市議会ホームページのトップページにある「議会中継(試行)」をクリックしてください。)

出雲市議会では、ICT(※情報通信技術)活用調査研究会が中心となり、インターネット中継の実施について検討をしてきました。

今回の試験配信の状況を検討したうえで、平成25年度から本格的な実施(録画配信)ができるよう取り組みます。(平成24年度3月定例会の試験配信は実施しません。)



## 支所機能の充実について伺う

井原 優

### 問

合併により、旧斐川町役場は斐川支所となり、当初、6課と農業委員会、教育事務所、99人の職員体制でスタートしたが、現在、職員は75人に減った。住民の間には不安があり、地域に根ざした支所の機能を充実させることが必要である。①25年度の支所体制。②地域のまちづくり。③災害時の対応など支所の権限はどうなるのか。④テレビ電話の活用は、サービス向上につながるか疑問である。

### 総合政策部長

合併の目的のひとつに行財政改革があり、支所を含めた効率化、スリム化、110人の職員の削減を早期に実施しなければなりません。

①市民生活に密着した各種届出、申請、相談機能、住民票、戸籍、印鑑証明、税務証明などの窓口業務、地域協議会業務、防災拠点機能は支所に置き、それ以外は、25年度に本庁へ集約するよう検討しています。斐川町は合併が遅いためスケジュールは変わります。

②地域緊急対応費や道路・水路の修繕

など軽微な修繕は支所で執行します。③支所を地域の災害対応の要と位置づけ、地域に精通している職員を派遣します。④テレビ電話は、税務業務の本庁集約に伴い、固定資産税の縦覧対応を本庁で行うために導入しました。他の業務への活用拡大も検討します。



斐川支所の窓口業務

# 伊達市表敬訪問

宮本議長と長廻副議長が

伊達市を表敬訪問

12月25日



一昨年3月に発生した東日本大震災では、多くの尊い命が犠牲となり、未だに多くの方々が不自由で厳しい生活を余儀なくされています。

出雲市は、昨年4月から復興支援のため、市職員を被災地である福島県の福島市と伊達市へそれぞれ2人ずつ1年の任期で派遣し、支援しています。

宮本議長と長廻副議長は、昨年11月に本市と「大規模災害時における相互応援に関する協定」を締結した伊達市を、昨年12月25日に表敬訪問しました。伊達市議会を訪問するとともに、本市から派遣されている堀内裕満主任（放射能対策課除染第一係）と吾郷絢主事（市民生活課賠償支援係）から、市民の方々の苦勞話、心情や訴えなど現場の様子を聞いたり、業務のやりがい、苦勞していること、課題などについて意見交換を行いました。

両職員には、出雲市の代表として伊達市民のためにしっかり業務を遂

行するよう激励しました。

今回の訪問で改めて、関係地域の一日も早い復旧・復興を願うとともに、災害に強く安全安心なまちづくりに向けて、一層力を尽くす必要があると確認させられた訪問となりました。



派遣職員を激励（伊達市）

# 行政視察報告

利水ダム撤去の状況を調査

斐伊川・神戸川治水対策特別委員会

11月12日～14日

河川環境の変化、水力発電事業の見直しなどからダムの撤去に至った熊本県の一級河川球磨川荒瀬ダムを視察しました。

昭和29年に発電を開始し、一般家庭約2万世帯の年間使用料を供給するこのダムは、平成14年度末の水利権更新に際し、水害や水質への悪影響とともに主要設備の全面更新に伴う経費の増大など将来的な事業経営の見直しなどから撤去が決定され、撤去費用は88億円、平成24年度から5年間かけて治水、環境面に配慮した工法による全国初の本格的撤去です。利水ダムのあり方について、事業の意義や採算性、そして河川環境への影響など総合的に判断をした例となっていました。（寺田昌弘 記）



撤去中の荒瀬ダムを視察

# 松本市総合交通計画などを視察

総合交通特別委員会

10月1日～3日

行政が作るこのような総合計画は、総花的で、各部署の事業が寄せ集められており、統一性・具体性に乏しいものが多いように感じる。しかしながら、この松本市総合交通計画は、確固たる意志と力強さを感じた。

マイカー利用の抑制、健康のために徒歩や自転車の利用を促進する、郊外から市中心部に来る人については公共交通機関を利用してもらうなど、理想的なことが書かれているが、説明いただいた職員の皆さんの強いやる気を感じた。松本市では職員の9割以上がエコ通勤をしていることからこれが感じられる。

(福代秀洋 記)



松本市

# ANAグループと連携、真珠を

## ブランド化する取り組みから学ぶ

観光産業振興特別委員会

10月1日～3日

真珠の日本最大の生産地が南伊予の宇和島市です。しかし、誰もその事実を知りません。それもそのはず、市の海で生産された真珠はほとんど県外へ移出されているからです。そこで「宇和島真珠」を生産から加工販売まで一貫して行ってブランド化を目指し、一方では運輸業のANAと組んで戦略性を高め、販路開拓に積極的に乗り出しています。一次産業の振興には、ブランド化による六次産業化への努力が不可欠。「出雲のブランド化」が提唱されて久しい。戦略性に富んだ企画が望まれます。

(杉谷寿之 記)



真珠を核にしたまちづくり

## エネルギーの地産地消と

### 自給率について<sup>ゆすほらちよう</sup> 栲原町を視察

#### 原子力発電・新エネルギー調査特別委員会

10月1日～10月3日



小水力発電所（栲原町）

特別委員会では、再生可能エネルギー普及推進をテーマに、岡山県瀬戸内市、広島県福山市を訪問し、メガソーラー事業について視察を行いました。また、高知県栲原町では再生可能エネルギーの地産地消について視察を行いました。

特に、栲原町の取り組みは興味深く、小水力発電、太陽光発電、地熱

利用などによって、庁舎、学校、街灯などへエネルギーを供給し、自給率30%を達成されていました。

出雲市も今後、啓発事業にとどまる事なく、再生可能エネルギーの地産地消を図り、住民にインセンティブが生まれる取り組みを推進すべきと考えます。

（多々納剛人 記）

## 議会活性化の取り組み

#### 議会運営委員会

10月30日～11月1日

議会運営委員会では、議会活性化の取り組み・議会改革について、滋賀県大津市、京都府京丹後市・亀岡市を視察しました。

政策検討会議の取り組み・通年議会の導入・大学とのパートナー協定の実施・議員間の自由討議・文書による質問制度の導入・反問権制度などです。

特に、大学との協定により、政策立案への専門的意見の陳述、議員間の自由討議により、十分に知識を高め、政策立案・政策提言などが積極的に行われていました。また、文書質問制度により、身近な問題などが閉会中にも行われる制度など本市議会でも真剣に検討すべき課題であり、大変参考になりました。

（山根貞守 記）



京丹後市議会 岡田議長から議会改革について説明を受ける



番 号	議 案 名	審議結果	賛成	反対
諮第3号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて（鳥屋尾巧氏）	同 意	35	0
議第33号	平成24年度（2012）出雲市一般会計第5回補正予算	原案可決	32	4
議第34号	平成24年度（2012）出雲市後期高齢者医療事業特別会計第1回補正予算	原案可決	35	1
議第35号	平成24年度（2012）出雲市介護保険事業特別会計第3回補正予算	原案可決	36	0
議第36号	平成24年度（2012）出雲市簡易水道事業特別会計第1回補正予算	原案可決	36	0
議第37号	平成24年度（2012）出雲市下水道事業特別会計第3回補正予算	原案可決	35	1
議第38号	平成24年度（2012）出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計第1回補正予算	原案可決	36	0
議第39号	平成24年度（2012）出雲市ご縁ネット事業特別会計第1回補正予算	原案可決	36	0
議第40号	平成24年度（2012）出雲市病院事業会計第1回補正予算	原案可決	36	0
議第41号	出雲市新築住宅に対する固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第42号	出雲市暴力団排除条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第43号	出雲市浄化槽施設使用料条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第44号	出雲市下水道条例及び出雲市特定環境保全公共下水道施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第45号	出雲市水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例	原案可決	36	0
議第46号	新たな出雲の国づくり計画「出雲未来図」を定めることについて	原案可決	32	4
議第47号	公の施設の指定管理者の指定について（大社町有線放送電話（大社ご縁ネット））	原案可決	36	0
議第48号	公の施設の指定管理者の指定について（原鹿の旧豪農屋敷）	原案可決	36	0
議第49号	公の施設の指定管理者の指定について（古志スポーツセンター）	原案可決	36	0
議第50号	公の施設の指定管理者の指定について（アクティーひかわ、アクティーひかわ体育館）	原案可決	36	0
議第51号	公の施設の指定管理者の指定について（出雲市南部福祉センター）	原案可決	35	0
議第52号	公の施設の指定管理者の指定について（東須佐サポートセンター「かがやきの家」）	原案可決	34	0
議第53号	公の施設の指定管理者の指定について（東須佐サポートセンター 介護予防施設）	原案可決	36	0
議第54号	公の施設の指定管理者の指定について（西須佐サポートセンター「こもれびの家」）	原案可決	34	0
議第55号	公の施設の指定管理者の指定について（認知症高齢者グループホーム「せせらぎの家」）	原案可決	34	0
議第56号	公の施設の指定管理者の指定について（出雲市生活支援ハウス）	原案可決	34	0
議第57号	公の施設の指定管理者の指定について（出雲市湖陵デイサービスセンター）	原案可決	35	0
議第58号	公の施設の指定管理者の指定について（精神障害者グループホーム「はつらつホーム」）	原案可決	34	0
議第59号	公の施設の指定管理者の指定について（出雲市湖陵保健福祉センター）	原案可決	35	0
議第60号	公の施設の指定管理者の指定について（斐川環境学習センター）	原案可決	36	0
議第61号	公の施設の指定管理者の指定について（斐川企業化支援センター）	原案可決	36	0
議第62号	工事委託契約の締結について（消防救急デジタル無線広域・共同整備事業）	原案可決	36	0
議第63号	字の区域の廃止について	原案可決	36	0
議第64号	市道路線の廃止について	原案可決	36	0
議第65号	市道路線の認定について	原案可決	36	0
議第66号	出雲市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	34	0
議第67号	出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	34	0
議第68号	出雲市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	30	4
請願第9号	県に乳幼児等医療費助成制度拡大の意見書提出を求める請願	不採択	33	3
請願第10号	安全・安心の医療・介護実現のための看護師等の夜勤改善・大幅増員を求める請願（意見書提出）	不採択	32	4
請願第11号	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める請願（意見書提出）	不採択	32	4
陳情第10号	反問権の導入に関する陳情	継続審査	33	3
陳情第11号	県営大社漁港海岸（きづき海浜公園）環境整備事業の早期完成を求める陳情	採 択	36	0
陳情第12号	出雲市誘致の専門学校の新設に関する陳情	不採択	31	5
陳情第13号	出雲市中央部に緊急情報伝達の手段として早急に外部拡声器の設置を求める陳情	趣旨採択	33	3
陳情第14号	神戸川再生についての陳情	継続審査	35	1
【継続審査中の請願・陳情】				
平成23年度 陳情第16号	島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求める陳情	継続審査	32	4
陳情第1号	成立を目指している出雲市自治基本条例に関し、白紙撤回を求める陳情	継続審査	31	5

## 議会活動 (11月15日～2月12日に開催された会議)

- |   |   |
|---|---|
| <p>11月15日(木) 理事会<br/>19日(月) 環境経済委員会協議会、環境経済委員会・原子力発電・新エネルギー調査特別委員会合同協議会<br/>20日(火) 子ども議会<br/>22日(木) 議会運営委員会、斐伊川・神戸川治水対策特別委員会協議会<br/>29日(木)～12月19日(水) 平成24年度第4回定例市議会<br/>29日(木) 議会運営委員会、全員協議会<br/>12月 5日(水) 商工議員連盟<br/>6日(木) 広報委員会<br/>17日(月) 斐伊川・神戸川治水対策特別委員会<br/>18日(火) 総合交通対策特別委員会<br/>19日(水) 全員協議会<br/>25日(火) 福島県伊達市表敬訪問<br/>1月 9日(水) 文教厚生委員会協議会<br/>15日(火) 環境経済委員会・神戸川発電用水検討協議会合同協議会、全員協議会、文教厚生委員会協議会</p> | <p>1月16日(水)～17日(木) 出雲市・諫早市・津山市第24回三市議会交流会議(津山市)<br/>17日(木) 広報委員会<br/>18日(金) 議会運営委員会、全員協議会<br/>21日(月)～22日(火) 全国自治体病院経営都市議会協議会 正副会長・監事・相談役会議(盛岡市)<br/>22日(火) 広報委員会<br/>25日(金) 環境経済委員会・神戸川発電用水検討協議会合同協議会<br/>28日(月) 広報委員会<br/>31日(木) 広報委員会<br/>2月 1日(金) 島根県市議会議長会事務局長会議(浜田市)<br/>6日(水) 全国市議会議長会 第190回理事会、第94回評議員会(東京都)<br/>7日(木) 全国市議会議長会基協協議会 第76回総会(東京都)<br/>12日(火) 議会運営委員会、島根県市議会議長会定期総会(浜田市)</p> |
|---|---|

### 今後の本会議の予定

### 平成24年度 3月定例市議会 日程(案)

- |  |   |
|--|---|
| <p>2月19日(火) 本会議(開会、議案上程・説明)<br/>21日(木) 本会議(一般質問・1日目)<br/>22日(金) 本会議(一般質問・2日目)<br/>25日(月) 本会議(一般質問・3日目)<br/>26日(火) 本会議(一般質問・4日目)<br/>27日(水) 本会議(一般質問・5日目、議案質疑、委員会付託)<br/>3月 1日(金) 総務委員会<br/>4日(月) 文教厚生委員会</p> | <p>5日(火) 環境経済委員会<br/>6日(水) 建設水道委員会<br/>7日(木) 予算特別委員会(1日目)<br/>8日(金) 予算特別委員会(2日目)<br/>11日(月) 予算特別委員会(3日目)<br/>12日(火) 予算特別委員会(4日目)<br/>14日(木) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)</p> |
|--|---|

※一般質問を行う議員数により2月27日の日程が26日に繰り上がることがあります。

### 編集後記

議会では常任委員会、特別委員会、各会派での視察研修が休会中に行われる。議員によるテーマを設けて視察先の役所を中心に出掛ける。各市を訪れると必ず視察目的の資料の他に「議会広報」が入っている。その外観も内容もまさに千差万別。当然のことながら私共のものと比較する癖が出る。いささか手前味噌だが意外とわが方は健闘しているのではと思う。視察の質疑が済んだ後、相手の事務方に議会広報がどの様な形で作られるのか、そつと聞くと意外に「外注」が多いこと「事務方」が大半を担っている所が多い。わが広報委員会は表紙の写真から一字一句の修正に至るまで、乏しい脳を振り絞っての手作りです。次回の編集でこの責任もおしまいとなります。

(杉谷寿之 記)

### 議会に関してのお問い合わせは

市議会だよりにお気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。より充実した紙面づくりの参考とさせていただきます。

### 出雲市議会事務局

〒693-8530 出雲市今市町70

TEL : (0853) 21-6579 FAX : (0853) 21-6251  
URL : <http://www.city.izumo.shimane.jp/>

出雲市ホームページの中の [出雲市議会](#) をクリック

メール : [gikai@city.izumo.shimane.jp](mailto:gikai@city.izumo.shimane.jp)

### 広報委員会

委員長 米山 副委員長 松村

委員 宮本 長廻 杉谷 荒木 多和 山代 勝部 川上 小村 飯塚 保科 大場 米山  
委員 利行 寿之 孝司 裕始 順子 幸博 吉一 俊之 孝充 利信 豪志



本誌は地球環境に優しい植物油インキを使用しております。